



事前のお知らせ

水防訓練の臨場感を近くで体感！！

～平成28年度練馬区・第十消防方面合同総合水防訓練を実施します～

と き 5月21日(土) 午前10時から正午

と ころ 都立城北中央公園都民の森(練馬区氷川台1-8)

区は、21日、都立城北中央公園都民の森(氷川台1丁目)で、これから迎える梅雨や台風シーズンに備え、災害対応力の向上を図るために『平成28年度練馬区・第十消防方面合同総合水防訓練』を実施します。

訓練を通じて、各防災関係機関や参加団体同士の連携を強化し、迅速かつ確実な災害対応の強化を図ることが目的で、区民や防災関係機関など約1,000人が参加する予定です。

会場では、土のう積みを始めとした浸水防止工法訓練や浸水箇所から可搬ポンプを用いた排水訓練、流出家屋からの救助訓練など、本番さながらの訓練を行います。

今年度は、見学者が訓練の様子をより近くで見ることができるよう、すべての訓練をコンパクトにまとめ、普段は馴染みの薄い水防活動をより身近に感じてもらえる訓練としています。

また、熊本地震と同じ震度7を体感できる起震車体験やはしご車の搭乗、子どもレスキュー体験、白バイの展示、ミニ防火衣の着用、防災関係機関によるブースなど、当日ご来場いただいた方も楽しみながら防災について学べる内容です。



▲土のう積み訓練(昨年の様子)

【訓練の内容】

① 身近なものを使った水防訓練・可搬ポンプによる排水訓練

地域住民が家庭にあるビニール袋やブルーシートなど身近なものを使って浸水を防ぐ訓練を行います。また、地元の消防団が可搬ポンプによる排水訓練を実施します。

② 土のう積み訓練

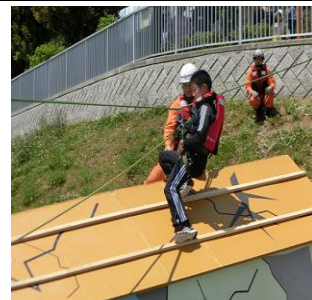
区職員や消防団などが、土のう袋の積み上げ訓練など、河川の氾濫に備えた様々な浸水防止工法訓練を行います。

③ 避難誘導訓練

区からの避難勧告に基づいて区職員や警察官が広報・誘導し、地域住民を避難所まで誘導する訓練を行います。

④ 流出家屋からの救助訓練

石神井川上流で家屋が流され、河川内に人が取り残されたという想定で救助隊による救助訓練を行います。



▲流出家屋からの救助訓練(一昨年の様子)

【関係機関の展示・体験コーナーも充実。風水害への対策をPR!】

実践的な訓練以外にも関係機関による、各種展示パネルや模型などの展示コーナーを始め、はしご車の搭乗や起震車体験、子どもレスキュー体験、白バイの展示、ミニ防火衣の着用、ミニ消防車運転体験、区・消防署・警察署のマスコットキャラクターが一同に集まるなど、大人から子どもまでが参加できるイベントとなっています。

【関係機関・参加団体】

練馬区・第十消防方面本部・消防署・警察署・消防団
東京消防庁災害時支援ボランティア・東京都下水道局・練馬土木協会
東京電力パワーグリッド株式会社・東京ガス株式会社
城北中央公園サービスセンター・区民(町会・自治会・防災会・一般参加など)



▲はしご車搭乗体験(昨年の様子)